

一般社団法人所沢法人会会長賞

国税庁のホームページについて

武蔵野音楽大学附属高等学校 一年 ウルフ そら

税金の作文を書かないといけない。私はとても焦りました。なぜなら税金に対しての感情が面白いほどなかったからです。一番身近な消費税に対しても「10 %になったら百円均一ショップで小銭を出さなくてすむなあ」くらいのイメージでした。何を書けばいいのかわからずただネットを漁っていた私に母が言いました。

「あなたは税金について何も知らないから書くことが無いんじゃないの?」と。

それはそうです。今までの人生で税金について調べることもなかったし、興味だって一ミリもなかったので何も知りませんでした。

そこで私は国税庁のホームページを見てみることにしました。そこには税金に関するニュースや確定申告について細かく書いてあったり、税金に対する知識が乏しい私でも分かりやすいように税のことが学べる学習コーナーなどがあり、クイズや紙芝居や動画などで知識や興味がない人でも税に触れることができるシステムになっていました。とりあえず私はクイズに挑戦してみることにしました。一問目で「昔、空気を吸うことにも税金を課そうとした人がいます。それは誰でしょう?」という問題がきて、私は最初からこのレベルなのかと思いました。結果的に私は十問中五問しか答えられませんでした。

でした。しかもそのうちの二、三問は勘で答えました。わかつてはいたけどここまで分かりやすい結果になるとは思っていなかったの
で少しショックでした。

次に町が作れるそうなので実際にやってみました。税金で建てられる建物とそうではない建物とで色を分けていてどこに税金が使われているのかがパツと見た時にわかっていいと思いました。また植物園にも税金が使われていることを知って驚きました。思ったより楽しくて一人で没頭してしまいました。ただ作って終わりではなく、その後にいい所と改善点を教えてくれるので楽しく学べるのかなと思いました。私の作った町は公園がなかったため、避難場所がなくて危険だと指摘されました。作っている最中は「公園か。そういえば、どうしてあるのだろう。」と思ってしまっていたけど指摘されて公園の大切さに気付くことができました。その点以外は全体的に褒めてくれたので少し悔しかったです。他にもすぐろくのようにクイズができたり、年齢別に税金についてまとめてあったりしてとても分かりやすかったです。

こうして作文という課題が出ていなければ国税庁のサイトは、なかなか見ることはないと思うし、成人になって払わないといけない税金も増えてくるのでこのような形で税金への接点を持てて良かったと思います。